

# 鹿児島県における環境保全型農業の普及について

自然農法普及員（鹿児島・宮崎担当）

自然農法鹿児島県連合会 事務局長

平川瑞泉郷 自然農法体験農園担当

南さつま市 自然農法体験学校ありのまま分校  
講師

鳳凰高等学校 自然農法実習講師

鹿児島有機講座実習担当

宮崎県高千穂町自然農法  
研修会講師

一般社団法人 MOA自然農法文化事業団

田中 成暁



# 全国各地への普及



名寄農場

大仁農場

大宜味農場

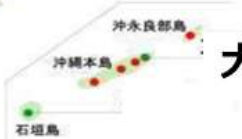
鹿児島農場

生産者会員 1,268名  
普及会数 224団体

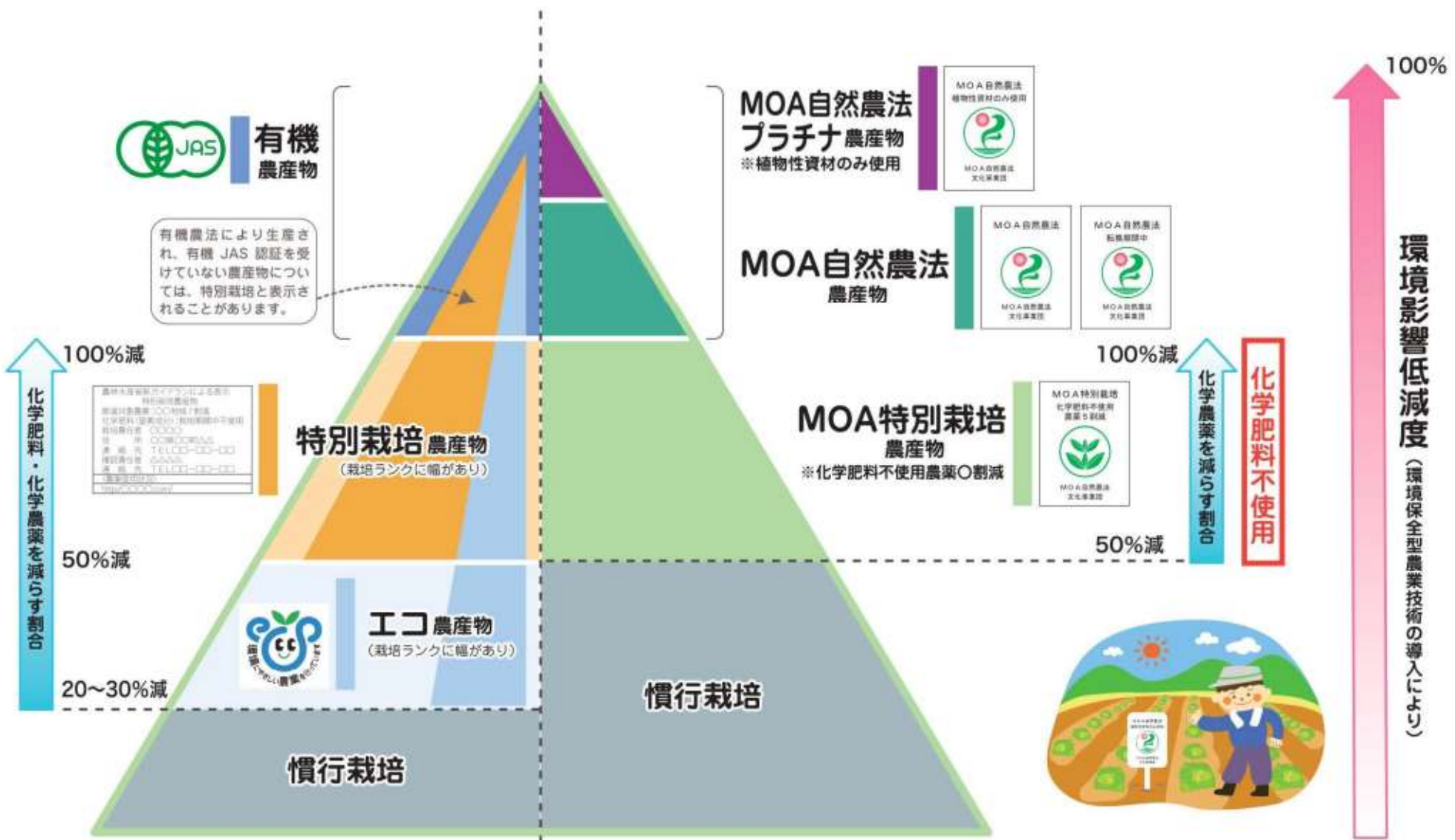


MOA自然農法ガイドライン

支所：10カ所  
直轄農場：9カ所



# 有機JAS規格・特別栽培農産物ガイドラインとMOA自然農法ガイドラインの関係



農水省（有機・特別栽培）  
自治体（エコ農産物）が認証

MOA自然農法文化事業団が認証  
※いずれも慣行栽培を除く



# 自然農法大学校の紹介

- 平成2年に開校
- 高い志をもった自然農法・有機農業の生産者や技術指導者の育成
- これまで300人余の卒業生
- 卒業生は、地域の農業の振興、環境保全、人々の健康増進に寄与



# 自然農法大学校の紹介



- 「基礎技術科」1年制  
基礎知識・技術を徹底して学ぶ
- 「営農技術科」1年制  
農業経営などプロフェッショナルを目指す
- 「短期研修」4カ月、9カ月  
春コース、春秋コース
- 「社会人コース」土日隔週  
仕事しながら基礎を学ぶ

南さつま市

自然農法体験学校

# 『ありのまま分校』について



## 【目的】

平成27年に南さつま市が「健康元気都市」を宣言し、環境保全型農業の一翼を担う事業としてありのまま分校を開校。

自然農法に関心のある方を対象に、農業実習や料理教室等などを、楽しみながら行うことを目的とする。

## 【吉田幸一分校長のモットー】

土を育て 野菜を育て 人も育つ



## 自然農法体験学校

# 『ありのまま分校』

平成27年度開校

委託先 MOA自然農法文化事業団

参加者 市内外の自然農法に興味がある方

卒業生 10年間で約400名

年間授業 5月から3月までの11か月間 全22回程度

内容 土づくり・植付・管理・収穫・販売・加工など

本年度受講生 44名(内子供7名) (応援団70名程度)



～植付～



～加工（豆腐作り）～



～収穫～



～収穫祭～



# オーガニックビレッジ宣言

自然農法や有機農業等の推進を図るため、自然農法野菜やオーガニック野菜の普及・啓発に努めることを目的とし、ありのまま分校の協力者や南さつま市の有機野菜農家で組織する

**自然農法・オーガニック野菜推進委員会**

令和2年4月に設立



福元雅岳委員長（福元農園）



次世代を担う生産者、子供達へ 豊かな環境を残すため、  
令和4年度(令和5年3月10日)にオーガニックビレッジを宣言



**新規  
就農**  
募集中!

“自然農法の野菜づくり”をはじめよう!!

# 1 加世田常潤高等学校との連携

- 県内初となる学校と市が有機に関する協定締結
- 県立加世田常潤高等学校の圃場を令和4年6月から借用
- 農家と協力して研修圃場として整備

👉 具体的に何をしているか？

- ① 農家への援農R4
- ② スマート農業勉強会R4
- ③ インターンシップの受入れ
- ④ 月に1回程度の農業実習
- ⑤ アンテナショップでの共同販売（2学期毎週木曜日）
- ⑥ 加工品開発を目的とした料理教室R4～R6
- ⑦ 静岡県自然農法大学校長による特別授業R4～R6

効果：教育・就農・人脈



鹿児島県初～  
南さつま市と加世田常潤高校との有機農業の振  
及び栽培技術に関する連携協定書締結式



## 2 鳳凰高等学校自然農法勉強会

👉 具体的に何をしているか？

- ① 県外先進地視察
- ② 静岡県自然農法大学校長による特別授業
- ③ 土づくり・種まき・苗作り・植付け
- ④ 草取り・水かけ・観察などの管理
- ⑤ 収穫
- ⑥ 料理教室
- ⑦ 収穫物の販売
- ⑧ 全プログラムの成果報告

👉 7月から12月まで全10回以上の体験プログラムを通じて  
自然農法を学ぶ特別授業

👉 簡単に言えばありのまま分校の短期間バージョン



# 3県内外から研修生の受入れ

推進委員会が県内外から研修生の受入れ



## 【受入実績】

令和4年度 鹿児島市1名

令和5年度 鹿児島市1名・石川県1名・静岡県1名

令和6年度 鹿児島市1名・神奈川県1名・南さつま市1名

👉 具体的に何をしているか？

①農家での有機農業研修 年1, 200時間

②加工品開発研修・有機JAS研修

③販売実習

④ありのまま分校・常潤高校・鳳凰高校など実習への参加



# 4 学校給食へ納入

令和4年から本格的に学校給食に納入

## 納入実績

R4出荷量約4.5t 売上約110万円

大根・ニンジン・玉ねぎ・長命草・ラッキョウ・小松菜・じゃがいも・青大豆  
さつま芋・カブ・白菜

R5出荷量約3.5t 売上約130万円

大根・ニンジン・玉ねぎ・長命草・カボチャ・小松菜・じゃがいも・青大豆  
さつま芋・カブ

R6出荷量約3.8t 売上約135万円

大根・ニンジン・玉ねぎ・ラッキョウ・長命草・カボチャ・小松菜・じゃがいも  
青大豆・さつま芋・カブ



### 有機野菜 給食に初納入

南さつま市の加世田常潤高校で育てた有機農法のジャガイモが、初めて同市の学校給食センターへ納入された。今後多品目の野菜を供給していく計画で、生徒たちは「食の安心安全への意識を学校へ広めたい」と意欲を示している。

加世田常潤高  
同校は給食へ有機野菜の普及を図る同市と協定を6月に締結し、校内農園約5850平方メートルを有機農園として活用している。地元の有機生産者グループ「自然農法・オーガニック野菜推進委員会」の指導で、食農プロデュース科の生徒が給食用に無農薬、無化学肥料の野菜作りに挑戦してきた。

2日に納入した第1弾のジャガイモは9月に植え付け、11月末に収穫。丸々と肥大し、同委員会の福元雅岳代表(29)は「形も品質とも上出来」と合意点を与えた。草むしりを欠かさず、農家で研修を受けるなどして農園の管理に努めた生徒たちは「努力も実った」と大喜びだ。

納入は季節ごとにタマネギやニンジン、大根などが続く。初荷47kgの運搬を手伝った2年の岩下誠琉さんは「草むしりは腰が痛くて大変だったけど、手がけた作物を食べてもらうのがやりがいがある。子どもたちが健康にいい食事に関心を持つ機会になればうれしい」と話した。

(黒田昌平)

早朝、ジャガイモを納入する高校生(右)と福元雅岳さん  
—南さつま市加世田津貫

「食の安心安全広めたい」

# ありのままお野菜

ロゴの作成、シールや紙袋、のぼり旗、テント・エプロン・PRビデオなどの販促グッズを作成



## 《5年後に目指す目標》

取組内容	令和2年度	令和9年度
有機農業の面積拡大	6.8ha	9.4ha
有機農産物販売量の拡大	70kg	2,500kg
有機農業者の増加	15人	16人

令和6年度実績
9.2ha (R7見込み10.8ha)
約3,800kg (R4~R6の平均約3,900kg)
22人 (R7見込み25人)

鹿兒島市  
平川瑞泉郷

ひらかわすいせんきょう  
平川瑞泉郷  
(2004年～)

「自然農法の生産・実証農場」

鹿児島県鹿児島市平川町2079  
鹿児島市内から車で約30分

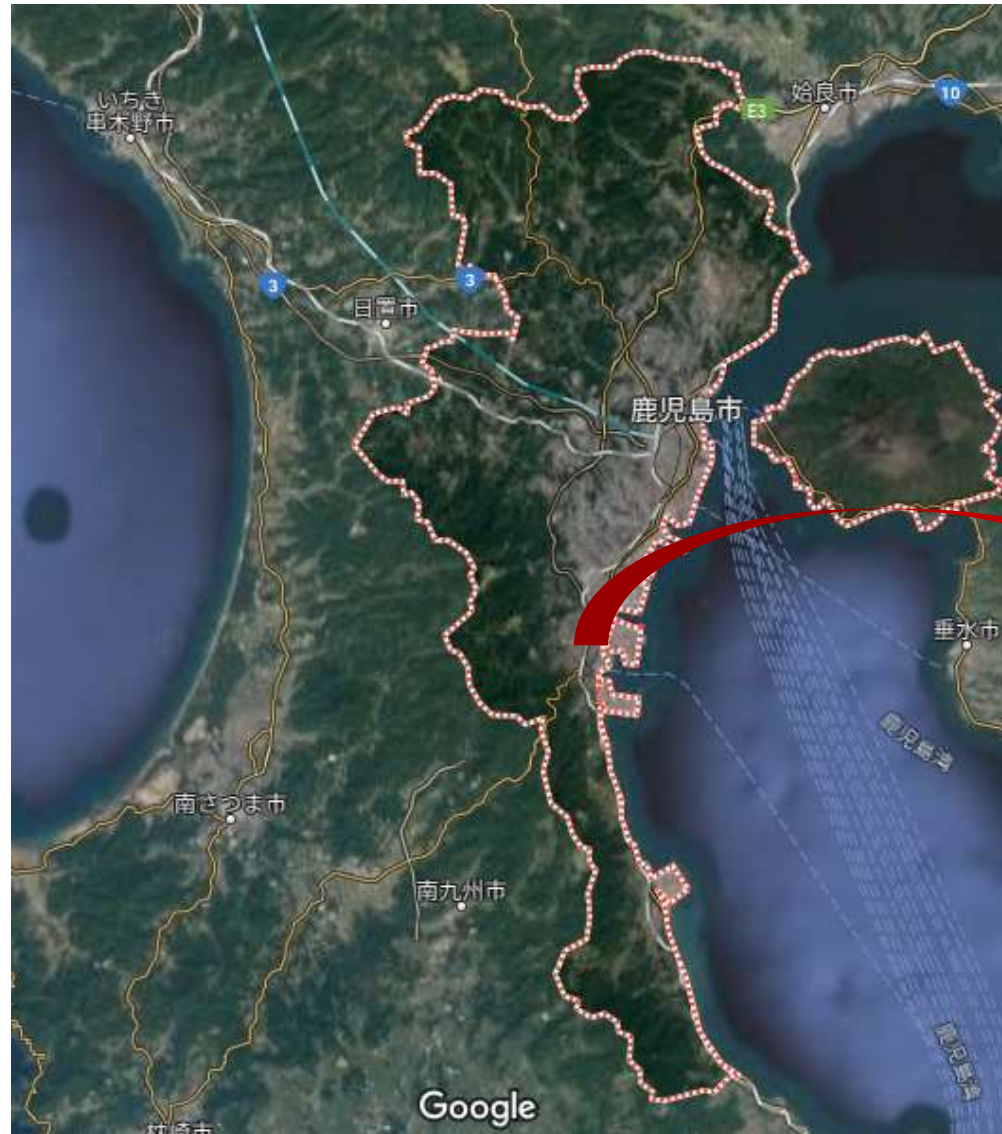
面積：44.7a

畑：10枚 少量多品目野菜・果樹

施設：

セミナーハウス	1棟
育苗ハウス	1棟
倉庫	2 箇所
堆肥場	3 ヶ所
機械置き場	1 ヶ所

耕耘機、管理機、  
ハンマーナイフモア







## 秋の収穫まつり、春の花まつり



## 自然農法体験農園



## セミナーハウスを活用した 教室、コミュニティの場



## 農業体験、収穫体験



## 農産物、苗、花の販売



# 11月30日健康と秋の収穫まつり



# 鹿児島市平川町

## 野菜づくり学が 癒し・健康 気づき

ひらかわすいせんきょう

# 平川瑞泉郷 自然農法体験農園

土に触れ、命を育てる農ある暮らし

自分の手で育てて、収穫して、味わおう🌱

鹿児島市平川動物公園からほど近く、20年の歴史がある自然農法の農場。  
農薬や化学肥料に頼らない、自然農法で野菜作りを体験してみませんか？  
育てる楽しさ、自然に癒される時間、おいしさを味わいましょう！

### 体験できる内容🍅

- 土づくり、畝たて、種まき、育苗、  
病害虫対策、収穫など
- セミナーハウスで具体的な講習、  
約50aの農園で実習
- 希望者には園内の果樹園や花畑の収穫  
体験もできます

### 安心ポイント🍴🔪

- 機械、農具完備  
(手ぶらで参加できます！)
- 自然農法普及員が直接サポート！
- 子ども連れ・初心者大歓迎！
- 駐車場・更衣室・トイレ完備

### 開催概要🥕

- 📍平川瑞泉郷（鹿児島市平川町2079）
- 📅毎月2回（土or日）  
※詳しい日程は申込後に公式LINEにて
- 🕒10:00~12:00
- 👛参加費1回1000円（お子様無料）  
汚れていい格好、手袋、長靴

### 事前申込み・お問い合わせ🌿

☎080-7310-6996

📷平川瑞泉郷



# 手ぶらで来れる

# 畑実践もできる



第1回  
12月 8名  
第2回  
1月 7名  
第3回  
2月 12名



# お花見 オーガニック交流会

平川瑞泉郷

農業

地域

健康

子育て

3/29 (日)

10時~15時

鹿児島市  
平川町2079  
平川瑞泉郷

- 参加費 -

1500円

(飲食代込み)

※持ち寄り大歓迎!



「オーガニック」をテーマに  
語り合い、交流しましょう!!  
おひとり様、お子様連れ大歓迎  
みんなでピザづくり♪

申込は  
こちら



坂之上・谷山地域の皆様へ

この街を活性化する！  
地域情報サイト

かごるん

check  
出来ました！

かごしまルン！ “かごるん”



- ♡ QRコードをカメラで撮りましょう！
- ♡ アプリ風ホームページ画面が表示されます！
- ♡ ホーム画面に登録  
アクセスや情報を後でゆっくり確認！

地域の情報・緊急連絡先（鹿児島市）  
JR・バス時刻  
地域マップ  
フォトギャラリーや地域のお店など  
情報がワンタップで見れますよ！

QRコードをカメラで撮りましょう！



掲載しませんか？ お気軽にお問い合わせください  
099-821-0708（24時間 録音受付）  
090-1083-8617（担当：濱田）

地元情報掲載  
地域を盛上げたい

貸農園を  
有機農業で  
講師依頼



空き地利用で  
国土交通省  
注目

自分だけの畑で野菜作りを楽しもう♪

**おさんぽ畑** が

2026年3月～ オープン！

申込受付中！

住所 〒891-0109 清和4丁目3-81

料金 1区画=9.3㎡ 2,700円/月

おさんぽ畑とは…

おさんぽついでなどのように自分のライフサイクルに合わせて野菜作りにチャレンジできる **レンタル菜園**です！

まちなか空畑をレンタル菜園としてコミュニティ広場を併設して地域の活性化を進めます。

お問い合わせは下記電話番号まで ☎

※詳しくはうしろへ

マルシェ当日に見学可能！

マルシェ開催

まちなか空畑を利用したマルシェを **11/29日**に開催！

マルシェ当日に見学やレンタル申し込み可能です！

ワークショップやお子様向けのブースもご用意しますので是非お気軽にお越しください！

マルシェの詳細はこちら  
setwa-px.shimapon.jp

主催 ○鹿児島相統対策研究会（鹿相研）  
○志學館大学法学部 不動産取引法ゼミ  
○地域を考える会

【お問い合わせ・事務所】  
☎ 〒890-0066 鹿児島市真砂町12-1-2 ☎ 099-259-1010

地域活性、コミュニティの広場  
空き地を農園に

レンタル菜園

おさんぽ畑

清和NO.1

管理 鹿児島相続対策研究会  
電話 099-204-7639

鹿児島相続対策研究会による未利用土地利活用実証実験

(国土交通省. 土地等対策モデル事業)

# 鹿児島県 有機農業推進協議会 事務局会議



あいら有機部会、かごしま有機生産組合、鹿児島市  
NPO有機農業協会、MOA自然農法文化事業団



来年度の計画どうしよう？



視察研修、講演会しても単発で終わり。繋がっていかない



鹿児島市平川町に自然農法の農場があります



有機農業推進協議会の活動に活用していただきたい



実習体験  
セミナーなど

# 有機農業講座 実習受入れ開始 (2月25日～毎月1回)

かごしま有機生産組合  
始良伊佐地域振興局  
協働の取り組み



# 自然農法鹿児島県連合会 自然農法普及会

(枕崎、穎娃、指宿、加世田、鹿児島市、北薩、日置、あいら)





## 毎月第4日曜日開催 健康野菜市 (鹿児島市東開町5-2)



## 公式LINEアカウント作成

お知らせ  
販売農産物の紹介  
農家の紹介  
(土づくり、想いなど)

自然農法鹿児島県連合会

# LINE@

## 友だち募集中!

ID: @117pmqcz

QRコードを読み取るか  
上記のIDを検索していただき、  
友達追加をお願いします。

自然農法  
活動情報

おすすめ  
農産物紹介

お得な情報  
を配信!!

十数年継続している自然農法の「健康野菜市」

場所 鹿児島市東開町5-2

日時 毎月第4日曜 10:00~12:00 (売切れ次第終了)



# 11月22, 23日オーガニックフェスタかごしま

自然農法鹿児島県連合会  
出店



# 12月 自然農法と統合医療推進議員連盟(34名県議) MOA自然農法鹿児島県連合会 合同研修(県議、市議、普及会など)

先進地視察研修

生産者との交流  
(半年に1回計画)



県内の生産者  
栽培の状況、想いに  
現地で触れてほしい





## ①県外から来て鹿児島県に思うこと

有機JAS認証の圃場面積が全国2位

あいら有機部会やかごしま有機生産組合など地域に根付いた存在

「オーガニックフェスタかごしま」大イベントを開催してきた歴史

「郷土愛」があって地元を応援する意識が高い

「食」「環境」「健康」への問題意識に熱意をもったネットワークが多い

## ②鹿児島県に期待すること



点と点の活動から、線へ面へ。協働活動

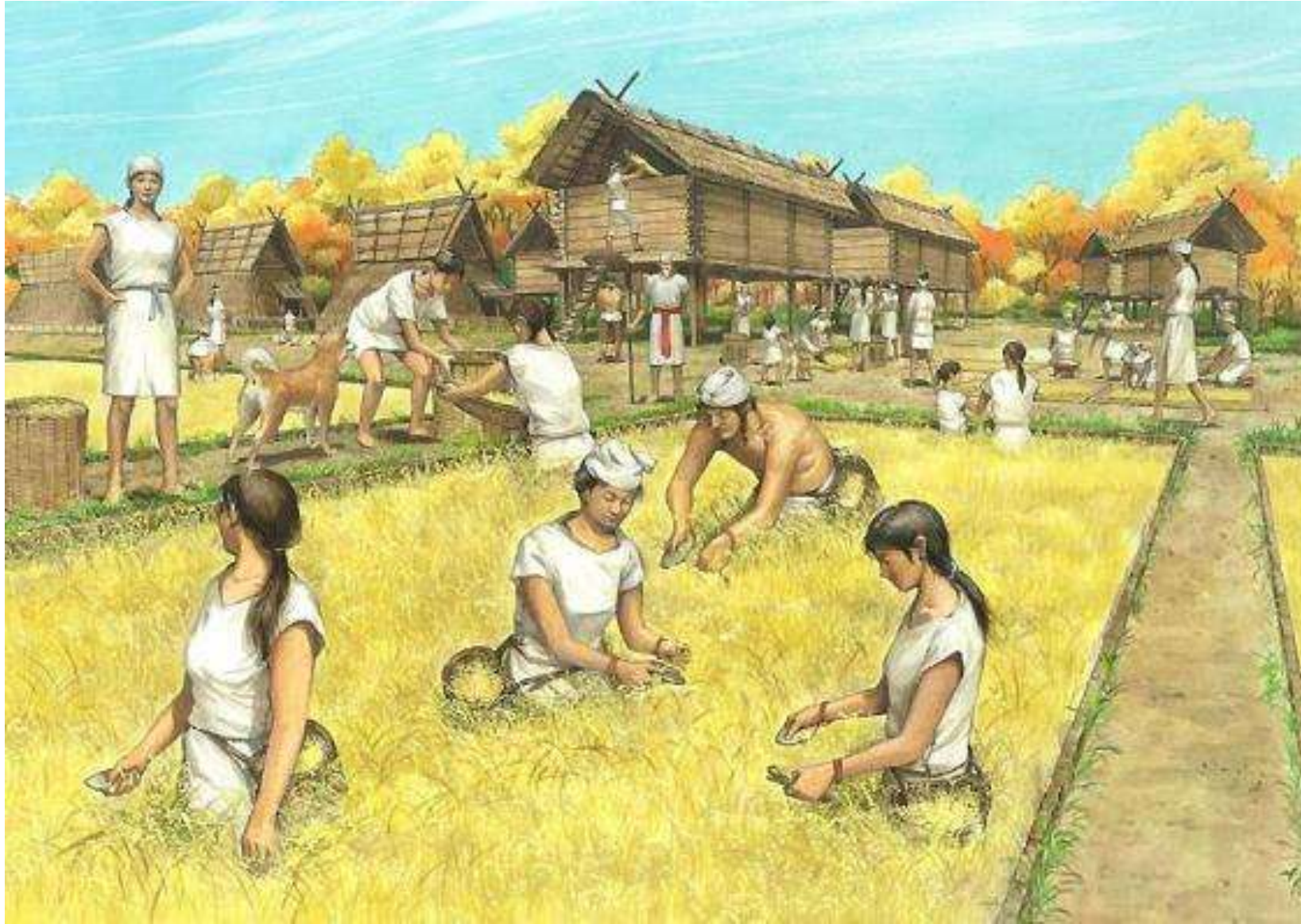
県外への出荷だけでなく、県内のスーパーや家庭で  
「当たり前前に地元の有機野菜が並ぶ」環境づくり  
オーガニック給食の推進

慣行農法を否定するのではなく、環境負荷を少しでも減らす  
「減化学肥料・減農薬」の取組みに多くの農家が参加する企画

かごしまオーガニックアプリ(例)を作成

# 今後の展望

# 人類はみな農が生活だった



# 農業を農活に

- ① 新鮮で安心な農産物で食卓を(たのしい・おいしい)
- ② 自然と土に触れ、癒される(アグリヒーリング効果)
- ③ 作業による運動効果で健康増進(ジム・サウナ<農作業)
- ④ 規格の価値観が変わる(傷や奇形も食べる、選ぶ)
- ⑤ 地域を美しくする→遊休農地の復活。獣害対策
- ⑥ 子供も参加して家族の団らん、食育(豊かな個・家・町づくり)
- ⑦ 農業の素晴らしさや苦勞が理解でき、生産者を応援する意識



**全市町村で講習会を開催(座学だけでなく実習型)**

**農×(教育・食育・福祉・医療・企業etc)とのコラボ**

**『鹿児島』で全国初の取組みを皆さんとしたい**